



1/26(木)新しい公共を創造する連携フォーラム

「新しい公共」においては、県民、NPO、企業、行政など様々な担い手が地域課題解決のために連携し、より充実した公共的な財・サービスの提供を行うことが期待されています。

寄附税制やNPO法制度の改正等、法制度面での環境整備が進む中で、本県において「新しい公共」を創造する担い手の育成と連携を促すためのフォーラムを開催します。(会場：くにびきメッセ)

(1) 基調講演 (10:30~11:30)【国際会議場】

演題:「NPO法の改正と新しい公共支援事業から見えてくるもの」

講師: 松原明氏(NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会副代表理事)

(2) 特別報告会(11:30~12:00)【国際会議場】

テーマ: 東日本大震災を風化させないために

報告者: 江川和弥氏(NPO法人寺子屋方丈舎 理事長・ふくしま連携復興センター幹事)

報告者: 八木俊介氏(あしなが育英会あしながレインボーハウスチーフディレクター)

(3) 分科会(13:30~15:00)

【小ホール・501会議室・601会議室】

分科会1

テーマ: 活動に必要な人と資金をどう集めるか

パネリスト: 江川和弥氏(NPO法人寺子屋方丈舎 理事長・ふくしま連携復興センター幹事)

パネリスト: 八木俊介氏(あしなが育英会あしながレインボーハウスチーフディレクター)

分科会2

テーマ: 新しい公共支援事業のあり方について考える

パネリスト: 久保田純氏(内閣府政策統括官(経済社会システム)付参事官(社会基盤)付企画官(新しい公共支援事業担当))

パネリスト: 眞鍋幸一氏(愛媛県民環境部管理局 県民活動推進課長)

パネリスト: 松原明氏(NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会副代表理事)

コーディネーター: 吉山治氏(島根県環境生活部NPO活動推進室長)

分科会3

テーマ: 動き出した「新しい公共」とその担い手たち ~NPO・労働組合・協同組合

...多様な担い手が登場する時代~

講師: 法橋聡氏(近畿労働金庫地域共生推進室長・新しい公共支援事業運営会議委員)

本フォーラムでは、多様な主体の連携による「新しい公共の創造」につなげる方策について、皆様と一緒に考えていきます。また、寄附税制の拡充やNPO法の改正など、NPO活動支援に関する制度改正が行われたことを踏まえ、今後のNPO活動の展開について考える機会とします。ぜひ、ご出席ください。

1/20(金)までに、(公財)ふるさと島根定住財団 地域活動支援課までお申し込みください。参加費は無料(ただし交流会4,000円)チラシ裏面に申し込書あり
FAX:0852-28-0692 E-mail:shimane@teiju.or.jp
URL: <http://www.teiju.or.jp/local>

(4) 特別講演(15:15~16:00)【国際会議場】

テーマ: 「島根のNPO活動のこれまでを振り返って今後に期待するもの」

講師: 井上定彦氏(島根県立大学総合政策学部 教授)

(5) 島根の新しい公共ステークホルダー新春交流会

(17:00~19:00)【ポモドーロ】(くにびきメッセ内)

助成金&イベント情報



募集情報



イベント情報



助成情報



地球環境基金助成金 〈一般〉

~1/25

- 締切日: 1月25日(水)必着 持込18時迄
- 助成金額: 上限400万円、規模によっては800万円、協働による活動1,200万円上限 下限は100万円
- 助成対象: 社団法人、財団法人、NPO法人、任意団体
- 対象活動: 環境保全活動を行い、先駆性や波及効果の高い活動に助成。

問合せ: 独立行政法人 環境再生保全機構
地球環境基金部地球環境基金課 TEL:044-520-9505



地域の伝統文化 保存維持費用助成

~1/27

- 締切日: 1月27日(金)当日消印有効
- 助成金額: 「民俗芸能」は1件につき70万円「民俗技術」は1件につき40万円をそれぞれ限度
- 助成対象: 古来各地に伝わる「民俗芸能」ならびに「民族技術」の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体。

問合せ: 明治安田クオリティオブライフ文化財団
TEL:03-3349-6194

URL: <http://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp/local/>



赤い羽根災害ボランティア NPO 活動サポート募金

~1/31

- 締切日: 1月31日(火)必着
- 助成金額: 短期(おおむね1カ月未満)の活動: 50万円以内、中長期(1か月以上)の活動の場合300万円以内
- 助成対象: 被災地をはじめ全国で、東日本大震災で被災された方がたへの救援・支援活動を現に行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等。

問合せ: 社会福祉法人 中央共同募金会企画広報部
TEL:03-3581-3846 E-mail:support@c.akaihane.or.jp
URL: <http://akaihane.or.jp/>



アステラス製薬 患者会支援 活動資金

~1/31

- 締切日: 1月31日(火)当日消印有効
- 助成金額: 総額850万円1案件上限50万円
- 助成対象: 患者・患者家族の会、患者会の連合組織・サポート団体等
- 対象活動: 会の自立や役員・リーダー・相談員の養成が期待できる活動。大災害に対する会の取り組みへの助成。

問合せ: アステラス製薬株式会社 総務部 患者会支援担当
TEL:03-3244-5110 URL:
<http://www.astellas.com/jp/csr/community/kanjakai/>



第9回里山自然塾 これぞ、春の七草

1/8

- 日時: 1月8日(日) 9:50~15:00
- 会場: ふるさと森林公園学習展示館 定員20名
- 参加費: 1名300円
- 内容: 春の七草について、その薬効も含めて学び、実際に採取し、七草がゆで試食します。七草の背景や、伝承文化としてのとんどさんについても学びます。

問合せ: NPO法人もりふれ倶楽部
TEL・FAX 0852-66-3586
E-mail: morifure@coffee.ocn.ne.jp



第6回神話の里 さくらおろちの食べごと塾

1/15

- 日時: 1月15日(日) 10:00~15:00
- 会場: 尾原公民館 定員20名
- 参加費: 1,000円 昼食付き
- 内容: 「七草かゆ」と「猪汁」づくりとそれらをめぐる地域文化について。尾原地区とんどさんに参加。

県庁前・ふるさと森林公園学習展示館前から無料送迎バス
問合せ: NPO法人さくらおろち
TEL・FAX0854-48-0729 E-mail: y-tsuchi@bs.kkm.ne.jp



アイガモ農法から学ぶ 生命のおはなし

1/22

- 日時: 1月22日(日) 10:30~12:30頃
- 会場: 福間農園(松江市ハ雲町) 定員: 15名
- 参加費: 小学生以上300円
- 内容: 無農薬・無化学肥料で、アイガモ農法での米作りに取り組んでおられる福間さんに、生命の循環のお話をいただきます。お話の後は、アイガモの料理をいただきます!

問合せ: 須田商店 田舎の森の休暇小屋
TEL:0852-67-1510 E-mail: hinata-smile@hb.tp1.jp
blogURL: <http://hinata-sudashop.seesaa.net>



NHK 歳末・海外たすけあい

~12/25

- 期間: 平成23年12月1日(木)~12月25日(日)
 - 受付窓口: NHK 各放送局、全国の郵便局およびゆうちょ銀行直営店、取り扱い標示のある金融機関、JA、JF、共同募金会、日本赤十字社
 - インターネットによる取り扱い
中央共同募金 <http://www.akaihane.or.jp/>
日本赤十字社 <http://www.jrc.or.jp/>
- 問合せ: NHK、中央共同募金会(歳末たすけあい)、日本赤十字社(海外たすけあい)、NHK 厚生文化事業団

島根で頑張る人

地球益を自分のものさしに

子育てを通して見えてくる様々な課題に取り組んできたコアラッチ。子育て世代に必要な情報を集めた季刊誌「遊ば!」の発行をはじめ、小さくなって着られなくなった子供服を欲しい方が100円で買える無人のリ・ユース・ステーションRを設置した。今では、益田圏域のスーパーや公共施設など7か所に配置されている。

当初子育ての観点から始まった活動だったが、子ども達の将来を考えた時、見聞きする危機的な地球環境を憂慮した常國さんの関心は、地球規模から見たエコ活動へと次第に広がっていった。

最近の子どもは環境に関しては大人よりむしろよく知っていたりする。た



エコバッグづくり

だ、その知識が行動に結びつくためには頭で考えるだけでなかなか難しい。そこで中学校の総合学習として、実際スーパーに行って何がエコな買い物なのかを学ぶ「エコショッピング」を行っている。

まず、出かける前に、商品を選ぶ判断基準を学んでもらう。再生紙からできたトイレトペーパーのことや遠くから運ばれてくる商品のCO2排出量のこと、またフェアトレード商品についてなど。それから、実際にお店に行って子供たちにエコな商品選びをしてもらおう。実体験を通して、地球環境を意識した視点を子供たちにも持ってもらいたいからだ。

体験することで、地球温暖化など世界の環境や人権問題に、自分の行動がどのように影響するのか気付くことが出来る。常國さんが企画するイベントには自ら気付き行動してもらおうための工夫がある。

最近では、社会派の映画を公民館などの小さなところで開くことも大切なのでは、と考えている。それを繰り返すことによって、少しずつだがみんなの意識を「地球益を自分のものさしに」変えていくことができるのではないかと。地球を取り巻くたくさんの難しい課題もそういった学習を重ねていくことで、次世代を担う子供たちの未来へとつながっていく。

“島根で頑張る人”は島根県で活動する人にスポットを当て、考え方や経験から団体活動に迫るコーナーです。スタッフの「学び」も兼ねて取材させていただいています。



NPO法人 コアラッチ 理事長 常國 文江さん

山口県出身。1962年生まれ。結婚を機に島根県に。3人の大・高・小学生のお子さんをもつお母さんでもある。その活動は子育て支援や環境活動と、多岐にわたる。アイデアと行動力で他の団体を巻き込んで活躍している。

NPO法人 コアラッチ 今までの主な活動

任意団体の頃から数え、今年で12年目。NPO法人になってからは6年目の団体。小学校へ行って、朝15分間本の読み語りをして子どもたちにエコについて考えてもらうきっかけをつくらせたり、いつもは廃棄されてしまう食材(おから)でドーナツづくりをしたりと、体験を伴ったエコ学習に取り組んでいる。

■中国ろうきん NPO 寄付システムについてのお知らせ

配分団体募集中!



(公財) ふるさと島根定住財団と中国労働金庫が協働事業で行っている中国ろうきんNPO寄付システムの配分団体を募集します。今回は東日本大震災発生に伴い、「災害救援活動」分野に対して特別枠を設けました。ご応募お待ちしております。

- 配分金額 … 1団体につき5万円
- 対象経費 … 使途に制限なし
- 配分団体 … 8分野9団体
- 応募方法 … 郵送または持ち込み
- 選考方法 … 審査会での書類選考

【締切日】

2012年1月13日(金)17:00必着

通常枠

- | | |
|--------------------------|-----|
| ・ 保健・医療・福祉の増進を図る活動 | 2団体 |
| ・ 環境の保全を図る活動 | 1団体 |
| ・ 国際協力活動 | 1団体 |
| ・ 子どもの健全育成を図る活動 | 1団体 |
| ・ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 | 1団体 |
| ・ まちづくりの推進を図る活動 | 1団体 |
| ・ 消費者の保護を図る活動 | 1団体 |
- 応募は1団体につき1分野に限ります。
 - 他の分野は、寄付金額が一定額に達するまで据え置きとします。
 - 1団体に配分する金額は一律5万円とします。

特別枠

- ・ 災害救援活動 1団体
- 東日本大震災救援活動に限ります。(島根県内での被災者支援活動も含みます)
- 通常枠応募の有無に関わらず、ご応募いただけます。
- 1団体に配分する金額は5万円とします。

プレゼン力向上セミナー 開催のお知らせ

助成金申請や、寄付・会員集めの際など、活動の内容を多くの方にわかりやすく説明するためのプレゼン力が求められます。

そのような機会に役立つ「伝える」基本と効果的なプレゼンテーションを行うためのノウハウを、学びませんか？

特に、県民いきいき活動支援事業ステップアップ・ジャンプアップの申請団体の方は、2月上旬に公開プレゼンテーションでの審査があります。

この機会をお見逃さないよう、ぜひお越しください。



内容

各自の“思い”や活動を、シナリオ作成を通して、口頭伝達でわかりやすく伝える技術を身につけます。対話型講義とワークの形式で行います。

【浜田】平成24年1月19日(木)13:30~16:30
いわみぷらっと 会議室

【松江】平成24年1月20日(金)13:30~16:30
STIC(スティック)ビル506研修室
＜共催:松江市市民活動センター＞

対象 地域づくり・NPO活動団体などプレゼンを行う機会のある方や
プレゼン力を身につけたいすべての方

参加費 無料

定員 各会場 30名



プレゼンに対する苦手意識や悩みをこの機会に解決しましょう！

図書紹介

図書コーナーの中から活動に役立つ書籍を紹介しています。松江事務局・浜田事務所で貸出しも行っていきます。ご興味のある方は是非一度お越し下さい。また「置いてあったらいいな」という本がありましたら是非スタッフに声をかけてください。

「地域を元気にするコミュニティ・ビジネス」(細内信考著)

副題に「人間性の回復と自立型の地域社会づくり」とあるように、コミュニティビジネスの実践事例を交え、地域に見合った等身大のビジネスを創造する為の、読み解いていくうちに勇気が湧いてくる本。



制作スタッフ日記

今年も残り少なくなってきました。雪に備えてタイヤ交換や、新しい年を迎えるための準備など、なんだか気忙しくなってきました。今年は、東日本大震災をはじめ、新しい職場での仕事と、公私ともに本当にいろいろなことがありました。“絆”という漢字が今年の漢字に選ばれ、誰もがまわりの人との関わりについて改めて思いをはせる年ではなかったかと思えます。取材に快く応じていただいた地域でご活躍の方、機関紙を楽しみにしているとの嬉しいお声をいただいた講習参加者の方、何よりも機関紙を毎号読んでいただいているすべての方との出会いに、感謝申し上げます。皆さま良いお年をお迎えください。



内田 麻紀

